

すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3sho>

平成29年度 6月号
杉並区立杉並第三小学校
〒166-0003 杉並区高円寺南 1-15-13
TEL 03-3314-1564
FAX 03-3314-1449

動物としての人間は

校長 織茂 直樹

先日、新聞を読んでいて、思わず目に留まった一文がありました。紙面の一番下に並んでいる書籍広告欄の『霊長類—消えゆく森の番人』（井田徹治／岩波新書）という本の広告です。私の目に留まった一文は、『人類だけが生き残れるはずがない』というキャッチコピーでした。人間以外の霊長類が生きられないような生態系や環境の中では、人間も生き続けることはできない。キャッチコピーの文意を私はそのように解釈しました。

私がこのキャッチコピーの一文に目を留めたのは、以前から“人間の行く末、について、心の片隅に抱いていた漠然とした不安感があったからです。それは、生身の動物としての人間の能力の劣化に対する不安や懸念ともいえるかもしれません。

予測のつかない急激な変化が進む社会の中で、明確な解答を見出すことが難しい多種多様な課題に向き合いながら、よりよい未来の創造者となっていく子供たちを、どのように育てていくのか。これが新しい学習指導要領の改訂の軸です。まさにその通りだと思うのですが、そのような学校教育を受ける子供たちの「土台」は、本来育つように育っているのでしょうか。土台ができていないと、そこに何かを載せることは難しいです。人間は、科学技術という鎧を剥がされれば、動物界でも一際ひ弱な「裸のサル」です。そのような人間がこの地球上で繁栄することができたのは、成長の過程で、生身の動物としての人間が生き残るための「土台」を、自然と身に付けてきたからなのではないのでしょうか。

他の動物より秀でている人間の強みは、単純に言えば「知恵と協力」だと思います。「知恵」を生むのは発達した脳、脳の発達を促すのは自由な手指操作、自由な手指操作を可能にするのは直立二足歩行。いささか強引な論だと思いますが、ここから生身の人間の「体」の土台を考えると、「歩行運動と手指操作」

といえるのではないのでしょうか。とすると、今の子供たちの、すぐ転ぶ・転んでもとっさに手が出ないというような身のこなし、紐が結べない・卵が割れないというような手先の感覚などは、人間という動物の「体」の土台が育っていない姿に思えてくるのです。

また、「協力」が成り立つには意思の疎通が必要です。意思の疎通は言葉や態度によってなされます。それらが貧弱で、柔軟なコミュニケーションや他者理解ができないと「協力」は成り立ちません。「協力」を実現する意思の疎通や良好な人間関係を築くためには「心」の土台が必要です。他者を受け入れ自分を委ねられる心、自他への信頼感・安心感・肯定感などが心の土台となるような気がします。それらが発現するには、乳幼児期から養育者との間に適切な愛着が形成されることが重要であるといわれます。子供の「心」の土台は、大切に育てられているのでしょうか。

動物の本能的な成長には、臨界期や最適期があるといわれます。動物としての人間では、その時期の多くが10歳までの子供時代に集中しているのではないかと思います。子供が子供として子供らしく生活することの大切さを再認識し、そのために必要な人的物的時間的等々の様々な環境を、社会全体で見直し保障していかないと、心身共にたくましくしなやかな、生身の動物としての生きる力に溢れた子供は育てられないように思います。

動物としての人間の長い歴史から見れば、高度な科学技術に支えられた豊かな生活を享受できるようになったのは、ほんのわずかな年月と一握りの人々だけです。人間として生身の動物の一種に過ぎないということを忘れては、この地球で持続的に生存し繁栄することはできないのではないのでしょうか。

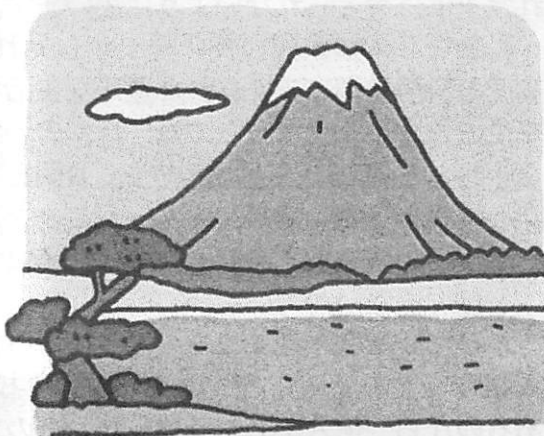
かつては家庭や地域の中で自然に育った人間の「土台」、今、その場と役割が学校にあるのなら、何とか力を発揮したいものです。

富士移動教室

～5年生～

5-1

富士山が すごくきれいで 見とれたよ 秋田 詠美
山登り つかれた後に 牛乳だ 荒木 颯良
頂上の ながめはすごく きれいだな 井上 雅人
朝起きて ラジオ体操 気持ちいい 遠藤 琉己
肝だめし 2人で走り こわかった 大和田美鈴
帰りはね 映画をみれて 楽しいな 岡崎 史学
山登り 辛くてしんどい でも楽しい 奥主 英人
肝だめし 友との絆 深まるね 鹿島 小瑚
朝になり 外を見渡し 気持ちいい 木内 寛人
富士学園 思い出たくさん 良い所 小林ハムザ
高座山 登りが急で きつかった 清水みらん
火の神よ われに力を 貸してくれ 杉崎 透
肝だめし 手をつなぐのが 恥ずかしい 鈴木麻央
富士山を 見上げてみれば 朝の風 鈴木りりか
富士学園 お土産コーナーかけつける 清野陽菜乃
肝だめし 怖くないけど 叫んだよ 武田 加那
富士学園 あっという間の 3日間 田中 紗葵
キジを見た とてもきれいだ 美しい 千頭 龍生
朝の庭 富士山ながめ キジが鳴く 戸田 樹稀
国鳥に 初めて会った 富士学園 富永 瑛舜
危機一髪 爆弾ゲームの 面白さ 豊島 怜
富士山よ 雪がつもりて 白びかる 永井 楓人
肝だめし とても怖いな 友達が 西村 元輝
肝だめし 一人のおばけ ばれちゃった 福田 航
山登り きつかったけど 楽しいな 松坂 愛莉
朝昼晩 ご飯がおいしい 富士学園 丸野友多郎
思い出を 家族のもとに とばします 宮川 采子
さる時計 3回見てて こわくなる 宮本准之介
窓からの 富士山きれいで 感動だ 村上 更
お化け役 泣いている子に 謝った 安川 凜子
山登り 疲れたけれど 景色いい 梁瀬 志麻
朝になり 友に踏まれて 起こされる 藪本 航瑠
バスで見る きりがたくさん 山の中 吉成 太一



思い出俳句

～6年生～

6-1

ほうとうを みんなで作ると 格別だ 秋原 埜安
つらかった 高座山の 急な坂 安齋 紘基
肝試し 校長先生 お化け役 太田 晶子
火の神と 炎の周りで ゲームする 小倉 康誠
肝試し ソツとドキドキ 怖すぎる 尾澤 舞理
富士学園 思い出いっぱい つくれたよ 加藤 里乃
肝試し とても怖くて 跳びはねた 金山 周平
お土産を 買って残高 50円 菅家 涼楓
富士学園 自然がいっぱい 楽しいな 木内 奏良
富士学園 布団の中で 怪談話 桐山 祥観
肝試し 怖がりながらも 歩いたよ 窪田 克喜
3日間 最高でした あのときは 栗原 大貴
火の中の 爆弾ゲーム マジコワイ 佐藤 大造
富士学園 最高に楽しい 3日間 新行内杏美
登ったよ 死に物狂いで 山登り 千葉 太一
富士山を 山から眺める きれいだな 外山 颯樹
富士学園 みんなと過ごした 3日間 中村 結衣
3日間 自然に囲まれ きれいだな 橋本 零士
富士学園 高座山で 大苦戦 濱上 陽介
痛ててて 溶岩樹形で 頭打つ 藤 陽明
森の中 溶岩樹形と 動物たち 山村 聡

6-2

山と空 広がる所 忍野村 安島 菜々
友達と 笑いあった 富士学園 伊勢 にこ
いつのまに ふとんの中に 虫がいた 伊藤 和哉
夜の部屋 だれかのねごと 笑う皆 伊藤 棕
富士学園 夜のきもだめし こわかった 木村 祥平
富士学園 みんなこわがる さるとけい 窪田 仁喜
富士学園 こわかったよ きもだめし 末永さくら
班長会 グチグチグチグチ 楽しいな 砂川 桂人
夜のへや 遊んでしゃべって おこられた 高木 英寿
火の外に みんなの笑顔 キャンプファイヤー 高田 優芽
火の神が こうりんしたよ 富士学園 田中 祥太
キャンプファイヤー 花火も見れて うれしいな 波瀬川正直
山登り 富士のながめが みえるかな 南波佐間まなみ
高座山 頭痛いけど いいながめ 野澤 雪乃
火の神だ おばけがこない 安心だ 濱松 幸輝
富士学園 たのしかったな またいきたい 前 千絵梨
富士学園 お風呂の温度が ぬるかった 藤岡 大輝
オグごめん オレが泣いたら びびってた 間宮 章智
げきを見て 笑う人を見て 笑う 宮坂 和来
ネイチャー ガイドウォーク たのしいよ 村上 友哉
三日間 移動教室 富士学園 山口 悠成

平成29年 6月 1日

保護者・地域の皆様

杉並区立杉並第三小学校

校長 織茂 直樹

土曜授業アンケート集計結果について（4/22 方面別下校訓練） 27 通

1 時間設定について

- ・よいと思います。
- ・確認の時間を1時間使っていたのでよかった。
- ・お昼前でちょうどよかった。

2 方面別下校訓練について

- ・高学年が前と後ろを担当して行ったことはとてもよかった。
- ・今年度のように1～2年、3～4年、5～6年と分かれて行う年と、1～6年全員で下校訓練をする年とあってもよいかと思います。
- ・学年ごとに整列していたようですが、兄弟姉妹は一緒に抜けて行くので、一緒に並んで歩いたほうがよいのではないかと思います。
- ・1～6年生までがいるのでペアになって歩くようになっていて良かったです。ピーボ君の家も確認できて親も安心しました。
- ・みどりコースは、ガソリンスタンドのところを渡ると二手に分かれて下校するようですが、お知らせには「桃園コーポ前あたり」とあり、先生はそこまで付いてくださると思っていたので、逆方向に行ってしまったので、そちらも明記してあるといいと感じました。
- ・初回だったので最初から行きたかったのですが、途中から教室まであがらせていただきました。6年生が立派で、手をひかれて歩く息子の方が心配でした。家でも歩き方や学童へ行くのか行かないのかなど話し合うよい機会となりました。
- ・保護者もいたため、道路を完全にふさいでしまっているのが、他の人の迷惑にならないか気になりました。
- ・危険と思われる場所の再確認ができることはいいことだと思います。
- ・初めてでしたが、1年生以外の保護者の方がいないことに驚きました。いつもは娘が一人で帰ってくるので、同じ方面にたくさんのお友達がいるのだと確認できて良かったです。子供たちだけで先に帰ってしまい、先生にあいさつをすることもなかったのが、そこは少し改善すべきだと思います。
- ・低学年と6年生はきちんと2列に並んで歩いていたが、後列の高学年になると緊張感が薄れて、ふざけていたりして、横を歩いている保護者にぶつかりそうになりヒヤッとしました。
- ・初めてだったので同じ方面の子供たち、保護者の方の名前、顔を覚えていたのですが、1、2年生のグループと隣のグループが近かったため、声が聞こえなかったことが残念でした。
- ・他の学年の人と一緒に下校することはよい経験になったと思います。一緒に歩くことで危険な個所など親も再確認できました。

- ・高学年になるにつれ、保護者の参加が少なかったように思います。もっとたくさんの保護者の方に参加してもらえるような工夫が必要な気がします。
- ・方面別をもっと枝分かれにしたグループに分けて、同じ方向に帰る他学年のどんな子がいるのか分かりやすくしてほしい。
- ・全体的にだらだらした感じがして、下校訓練の趣旨がよく分かりませんでした。
- ・白線の内側を歩く、細くて交通量の多い道では一列で歩くなどの指導も必要なのでは。通学路が車、バイク、自転車の通りが多い場所もあり、低学年には危険が多いため。
- ・注意すべき点をきちんと把握させてから下校させてくださっていたのでよかったです。
- ・2年生になったので様々なことに慣れてきたのはよいのですが「少し寄り道してみようかな、違う道も通ってみたいな」等、慣れゆえに出てくるこのような好奇心に日々注意喚起の必要を感じています。有事の時に備えてはもちろんですが、どのクラスのどんな児童が我が子と同じ方面にいるのかを知っておくことはとても大切だと思います。希望していた場所に防犯カメラも設置していただき感謝しています。あとは、決められたコースを守って登下校するよう親としてしっかり指導していこうと思います。
- ・同じ方面の別学年のメンバーもわかるよい機会でした。学校の外で会ってもあいさつをするようになりました。

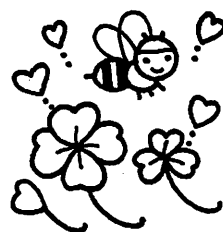
3 その他

- ・土曜参観があればよかったです。
- ・昨年の今頃、高学年をはじめ、自分より大きなお兄さん、お姉さん達からとても優しくしてもらったことをよく覚えており、2年生になった息子は、早速「一年生にどうやって接したら親切かな、なかなか難しいんだね」と話しています。改めて昨年お世話をしてくれた上の学年に「ありがとう」の気持ちで一杯になった母と子です。

○ご意見ご感想ありがとうございました。

反省を生かし、来年度に向けて改善をしていきたいと思ひます。

土曜授業ということで、多くの保護者の方に参加して、子供たちの様子を見ていただくことができました。お手伝いのご協力ありがとうございました。



◆小中合同引き渡し訓練について

6月21日(水)に、震度5弱の地震発生を想定した3校合同引き渡し訓練(高南中・杉三小・杉十小)を行います。

高南中にご兄弟がいらっしゃるご家庭は、先に中学生のお子さんを引き取ってから、本校での引き取り訓練に参加してください。

本校での児童の引き渡しは、13時50分からとなります。詳細につきましては別途プリントを配布いたします。ご確認をお願いします。

特別支援教育 ～怒りの感情との付き合い方～

「アンガーマネジメント(怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング法)」の研修を受けました。子育てにも役に立ちそうなことがありましたので、お伝えしたいと思います。

「怒り」はどうしておこるのでしょうか。例えば、ご家庭で、「リビングに靴下がぬぎっぱなし!」「子供が隠れてゲームをしていた!」といった現場を見つけて、カーっとなって怒鳴りつけるということは、よくあることではないでしょうか。このわき上がった怒りは、「こうあるべき」といった、自分の中の基準との違いが原因です。「靴下は脱いだら洗濯かごにいれるべき」「子どもは、約束をまもるべき」といった、理想と現実ギャップがある時におこります。そして、難しいことにその基準は気分によって左右されがちで、機嫌がよいときは、「まあ、いいか。」と思えるのに、イライラしているときは、絶対に許せなかったりします。できれば、どこまではよくてどこからはだめなのか境界線をはっきりさせられるとよいでしょう。

大人が怒りに振り回されないコツは、6秒間やり過ごすことだそうです。6秒間で怒りのピークは去り、自分は何に怒っているのか気付くことができます。そして、子供に、何について怒っているのか、ルールは何かを明確にして、どうなってほしいのかを分かりやすく伝えられると効果的です。「怒り」の感情は悪いイメージがありますが、誰でも持っている当たり前の感情の一つです。うまく付き合えば、パワーにもなります。カーっとした時は、まず6秒間深呼吸して、うまく付き合っていきたいものです。

小中一貫教育・小中連携

今年も高南中学校、高円寺中学校と6年生の授業体験、高南中学校、杉並第十小学校の先生方との合同の研修会などを計画し、小学校と中学校の連携を深めて行きます。今年は、高南中学校の研究発表会に向けて、5月10日(水)高南中学校で行われた研修会に本校からも教員が参加しました。

5月26日(金)には、本校体育館で杉並第十小学校の先生方と合同の救急救命講習会を行い、6月からの水泳指導に向けて、危機管理意識を高めました。上の写真は救急救命講習を行っている様子です。



			6月行事予定	学年授業時数					
日	曜	朝	学校行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	体	尿検査二次予備日	5	6	6	6	6	6
2	金	学級	しいのみ移動教室終	5	5	5	6	6	6
3	土								
4	日								
5	月	朝	委員会活動 安全指導日	5	5	5	5	5	5
6	火	帯読	体力調査実施日	5	5	6	6	6	6
7	水	講話	B時程 いのちの教育の日 体力調査実施日	5	5	5	5	5	5
8	木	児	歯科検診①②③ 水道キャラバン④	5	6	6	6	6	6
9	金	読	縦割り班活動④⑤⑥	5	5	5	6	6	6
10	土								
11	日								
12	月	朝	クラブ活動 水泳指導始 125周年航空写真撮影	5	5	5	5	5	5
13	火	帯音		5	5	6	6	6	6
14	水	帯音	午前授業	4	4	4	4	4	4
15	木	学級		5	6	6	6	6	6
16	金	読		5	5	5	6	6	6
17	土								
18	日								
19	月	朝	クラブ活動	5	5	5	5	5	5
20	火	帯音	セーフティ教室（薬物乱用防止教室）⑥	5	5	6	6	6	6
21	水	帯音	B時程 小中合同引き渡し訓練	5	5	5	5	5	5
22	木	音	縦割り班給食	5	6	6	6	6	6
23	金	読		5	5	5	6	6	6
24	土	学級	土曜授業 合唱祭	5	5	5	5	5	5
25	日								
26	月		振替休業日						
27	火	帯		5	5	6	6	6	6
28	水	帯	B時程 音楽鑑賞教室⑥	5	5	5	5	5	5
29	木	学級		5	6	6	6	6	6
30	金	学級	保護者会（低1:40 高13:00）小児生活習慣病予防検診説明会④	4	4	4	5	5	5

6月の給食費の引き落としは5日と19日（再振）です。

※朝…全校朝会 音…音楽朝会 体…体育朝会 集…児童集会 帯…帯学習 読…読み聞かせ

6月の生活目標 気持ちのよい生活をしよう

6月は雨が多い時期です。休み時間に室内で過ごしたり、廊下で滑らないように気を付けたりしなければなりません。一緒に学校生活を送っている友達のことを考えて快適に過ごせるようにしたいですね。新年度から2か月がたち、学習や生活にも慣れてくる時期だと思います。今までよりも視野を広く持って、お互いを思いやり、楽しい気持ちや充実した気持ちを共有しながら過ごせるようにしたいと思っています。